

まんさく



↑↑↑

熱心にご鑑賞下さった児童の皆さん

児童の皆様から頂いたお便りから →

【284号もくじ】

☆2～3頁★

* 目標「相談員・介護」

☆4頁★

* 「今生より往く」

* 寄附・寄贈 ご紹介

☆5頁★

* 想…「災害を捉える」

☆6頁★

* 地域密着型事業紹介

☆7頁★

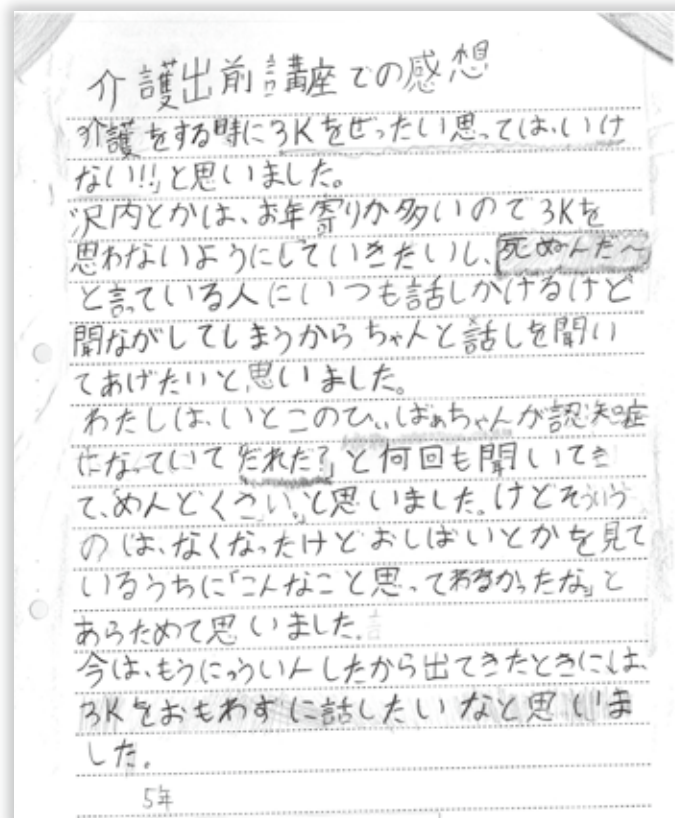
* コロナ集団感染奮闘記

☆8頁★

* 「光寿苑の日々」(4コマ漫画)

* 「自然法爾」(おきさんのお話)

* 「おわりに」



介護出前講座での感想

介護をする時に3Kをせたいと思てはいけない!!!と思いました。

沢内とかは、お年寄りが多いので3Kを思われないようにしていきたいし、死ぬ人だ～と言っている人にいつも話しかけるけど聞かなくなってしまふからちゃんと話しを聞いてあげたいと思いました。

あたしは、いとこのひいばあちゃんか認知症になっていてたれた?と何回も聞いてきて、めんどうくさいと思いました。けどおかげのほなくなたけどおしはいとかを見ているうちに「コトなこ思てあるかたなとあらためて思いました。

今は、もうにういたから出てきたときにはお3Kをおもわずに話したいなと思いました。

5年

「介護寸劇」で福祉の魅力伝える
《沢内小学校高学年対象 11月14日》

この度の光寿苑での集団感染では大変ご心配をお掛けいたしました。

令和4年度の光寿会全体のテーマは「続・知る」

【生活】「①生活・ケアマネ部門」 ☆細川るみ子☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』					
令和4年度上半期上半期のイメージ	テーマ	『知る』を深めて、つながりを回復する。				
	理想上半期	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>介護技術の向上と教育の体制づくり</td> <td>ウィズコロナ時代のつながりの回復</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	介護技術の向上と教育の体制づくり	ウィズコロナ時代のつながりの回復
	目標 ①	目標 ②				
介護技術の向上と教育の体制づくり	ウィズコロナ時代のつながりの回復					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①科学的介護『LIFE』の導入により、お年寄りの状態やケアの評価を実施(モニタリング時)</p> <p>②評価に基づき、『(新規)介護技術向上委員会』を中心に、その方に最適なケアを検討。</p> <p>③必要に応じ、介護技術向上のための教育の機会を提供。</p> <p>④これらを並行し、願いや想いに焦点を当てた「個別ケア」を実践するために、誕生日やその方を知る日を設け、ケアを創造する。</p>					



令和4年度上半期検証【テーマ】	<p>※お年寄りを知るための取組みとして、7月末に入居された方を皮切りに、生活歴の聴き取り方法を口頭ではなく、生活歴シートをご家族に対して使用。一旦持ち帰り頂き、ゆったりと振り返る時間を持ちながら記載できるように見直しを行った。より詳細な生活歴が把握できるであろうと見込んで開始したものであるが、成果については下半期に検証を行いながら、「つながりを回復する」ための手掛かりとして活用を図っていきたい。</p> <p>※全国的コロナ拡大により制限せざるを得ない事が多かったが、その波に応じて可能な限り対応を考え実施できた。</p>
令和4年度上半期検証【各目標】	<p>目標① ※今年度から導入する事となった『LIFE』の評価システム。「介護技術向上委員会」と連動して課題解決に取り組みようと講じた目標だったが、実際には思い描いた様な成果を生み出す事ができなかった。加算取得の目的にしか活用できていない。</p> <p>※「介護技術向上委員会」として、新人職員への実技指導は実施できたが、それ以降の活動が途切れてしまった。下半期は「教える事」を学ぶ機会を作っていきたい。また、お年寄りの個別の介助方法を検討し、安心・安全な技術を身につける事にも力を入れたい。</p> <p>目標② ※3ヶ月のモニタリング時、ご家族への報告を追加する取組みについては、各担当介護職員により概ねできている。</p> <p>※面会については、主任者会議等により随時検討され、対応はできている。</p> <p>※感染対策に準じながらという状況に変わりはないが、ドライブや外出等「個別ケア」実践のために、お年寄りの想いをしっかり聴き、外に出る機会を作れるようにはたらきかける。</p>



令和4年度下半期下半期のイメージ	テーマ	『知る』を深めて、つながりを回復する。				
	理想下半期	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>介護技術の向上と教育の体制づくり</td> <td>ウィズコロナ時代のつながりの回復</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	介護技術の向上と教育の体制づくり	ウィズコロナ時代のつながりの回復
	目標 ①	目標 ②				
介護技術の向上と教育の体制づくり	ウィズコロナ時代のつながりの回復					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①科学的介護『LIFE』の導入により、お年寄りの状態やケアの評価を実施(モニタリング時)</p> <p>②評価に基づき、『(新規)介護技術向上委員会』に働きかけ、その方に最適なケアを検討できる流れを作っていく。</p> <p>③必要に応じ、介護技術向上のための教育の機会を提供。</p> <p>④これらを並行し、願いや想いに焦点を当てた「個別ケア」を実践するために、誕生日やその方を知る日を設け、ケアを創造する。</p>					

上半期を振り返り、下半期改めて目標確認しました

【生活】「④介護部門…湯の町地区」 ☆加藤千恵子☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』		
令和4年度上半期のイメージ	テーマ	お年寄りをよく知ろう	
	理想上半期	目標 ① 1人ひとりの表情や状態を知ろう	目標 ② 介護の基本をもう一度知ろう
	具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①個々の残存機能を知り、出来る事を行えるようにしていく。 ②寝たきり度の高いお年寄りの口腔ケア ⇒出血しないように口腔ケアを行う。 ③「内出血はなぜできるか？」を知り、できないための方法を共有していく。	①新人職員も入ってきたため、もう一度介護の基本をしっかりと行えるようにする。 1) 個々に合った介助方法 2) 食事の際のポジショニングを共有していく。

令和4年度上半期検証【テーマ】	※お年寄りのその日の体調や顔色や表情で状態を確認し、いつもと違う時は医務へ伝えて確認する事が出来たと思う。また、できる事をやらせてあげるようになるべく行ってきた。しかし、外出や散歩等はほとんどできず残念だった。
令和4年度上半期検証【各目標】	<p>目標①</p> <p>①「縫い物がしたい」「漬物を漬けたい」というお年寄りの声に応え、見守りしながら行う事ができたのは良かった。 ②口腔ケアで出血しないように、口腔ケアが行える技術と丁寧さが身についてきた。 ③「内出血はなぜできるのか？」をみんなで考え、内出血ができないように取り組んでおり、以前よりも内出血のヒヤリハットは無くなってきている。</p> <p>目標②</p> <p>①の1) 新人職員への介護の基本を行えていると思う。他職員も向上のためがんばっている。まだまだ覚える事があるので、がんばっていきたい。 ①の2) 介助方法・ポジショニングについては、全員が共有というところまでは出来ていないため、下半期にがんばって取り組みたい。</p>

令和4年度下半期のイメージ	テーマ	お年寄りをよく知ろう	
	理想下半期	目標 ① 1人ひとりの「気持ち」を知ろう	目標 ② 介護の基本をもう一度知ろう
	具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①1人ひとりのその日の表情や状態を知り、また、以前の状態をケース記録等でも確認していく。 ②お年寄りの「その人らしさ」を知り、ご本人ができる事を行えるようにしていく。	①移動・移乗時のやり方をしっかりと行う。 1) 個々に合った介助方法 2) 食事の際のポジショニングを再度共有していく。 ③ 体位変換時の方法も共有していく。

『今生より往く』



愛された母の声と笑顔は永遠に…

相思相愛の親子の絆は永遠に…



高橋キミヨさん【97歳】

『アメッコけねあ〜?(くれないか?)』とお部屋から出て来られる姿、よく覚えています。毎日、『おはよ〜♪』と元気いっぱい挨拶してくるキミヨさんから、私たち職員、沢山元気をもらいました。また、キミヨさんの事を大切に思うご家族の皆さんもステキでした。ありがとうございました。

《柴田真衣》



高橋 アイさん【92歳】

ご家族のお話をすると、とても嬉しそうな笑顔がステキな方で、そんなアイさんが大好きでした。日々、職員への気づかいがあり、嬉しく思っていました。コロナ禍でなければ、毎日のように面会に来て下さった息子様との関係も感激してしていました。ありがとうございました。

《工藤美加子》

おかげさまでした

寄附

- ★ 小専商店 様 [湯本]
- ★ 松岡由美 様 [大阪市]
- ★ 西和賀町立湯田小学校 様
- ★ 匿名希望 様 [太田]
- ★ " 様 [湯田]
- ★ " 様 [湯之沢]
- ☆ 石川アチ 様 [上野々]
- ☆ 熊谷富夫 様 [湯本]
- ☆ 高橋ちづ子 様 [下前]
- ☆ 佐々木里子 様 [北上市]
- ☆ 石川 颯 様 [盛岡市]
- ☆ 高橋 純 様 [神奈川県]

寄贈

- 介護助っ人 [12/2、3、5]
- ★ 小原勇哲 様 [花巻市]
- 救命救急講習 [11/30]
- ☆ 西和賀消防署員 様 … 4名

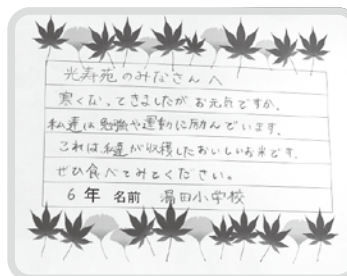
訪問

(11月1日〜21日)

面会

- 【面会】家族、親戚等
- 対面 延べ 8組
- 窓越し 延べ 2組
- オンライン 延べ 3組

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ



光寿会へのご支援

想。。。災害を捉える ~岩手から発信します vol.2~

コロナ集団感染は、まさに「災害、だった…」太田宣承

「つなぎ役」…として一筆したためた前回。そうこうしている内に、光寿苑内でもコロナ集団感染に見舞われた一ヶ月。そこで感じてきた事をこの度、執筆させて頂きます。

近隣施設や町内での感染拡大の
情報が入る中、マ一度コロナが入
れば大変な事になるかと気を引き
締めていた11月の初旬。徐々に入
る近隣施設のクラスター情報に恐
れおりのいていた私たち。しかし、
その鬼は静かに現れ、瞬く間に光
寿苑を呑み込んでいった。

11月22日、お年寄りや職員の2
名が陽生となる。翌23日には、新
たに3名のお年寄りや陽生。日を
進むごとに感染は猛拡大し、一ヶ
月後には計8名の大規模クラスター
となり、ついに11月23日(現在の名)
レッドゾーンとされる感染対応工
事では、最大20名の陽生のお年
寄りに対応する逼迫した状況が続
いた。まるで、あの3・11の被災
地での奮闘の情景が重なって見え
た。別室には、箱積みされた感染
対策の物資の山々。「被災した
感覚すら起こった。もはやこれは、
災害なんだと思った。

毎日、その日をどう生きるか？
明日など考えられない。其々必死
で場あたりで対応した。その場で
考え、即行動。ダメなら即検討し、
また行動。その繰り返しの日々か

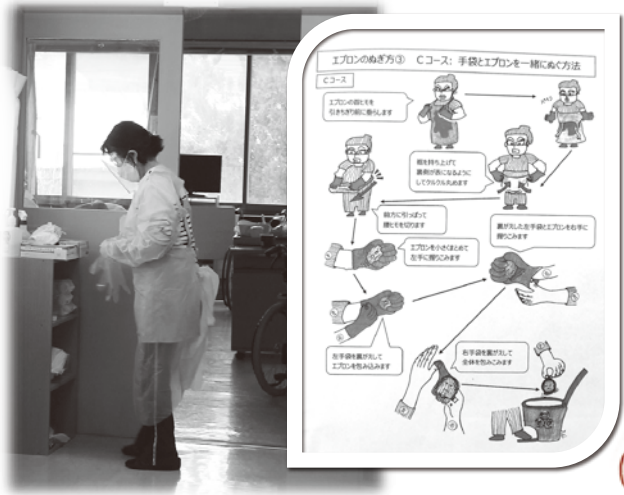
ばらく続いた。職員が一人、また
一人と陽生となり欠けていく恐怖
感と言え、言葉が見あたらない。
さらに、外から医療支援が入って
きてもらえない程、県内で同時期
にクラスターが多数発生している状況。
その中で、療養期間中のお年寄り
がある日、突然息を引きとる。良
化傾向にあった中だっただけに、
あの時の悔しさや悲しさは、今も
全職員の痛みとして残っている。
それでも前を向き、自分たちが
やるしかない！次に同じ事が起こ
らないように。声を掛け合い、
笑顔を作りながら、懸命に踏ん張
った。陽生者対応の最前線で闘う
職員、陽生者を出さぬように不安



更衣室での密集やマスクが取れた状態での
会話は感染リスクが高い。注意喚起も大事！

と恐怖と闘いながら了する職員、
その職員の食を支える職員、雑用
的な事など最前線の職員を支える
職員、全体の方向性を共に知恵を
絞り考え抜いてくれた職員。其々
が自分のできる役割を果たした。
そこには、お年寄りを護りたいと
職員を支えたいというブレな
い一つの想いや存在した。その想
いこそが、一人一人を強くした。
12月21日。この一大事は、全て
の方の療養が明け、終息となった。
自負していた感染対策が通用し
た現実。だが、厳し過ぎた
実践を通して、真の実と成った。

宣



感染対策のためガウン着用。脱ぎ方が最も重要なため、
居室毎に右の絵図を貼り、確認しながら対応してきた。

今月の登録者の方々
13名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

遅めの根雪！？一気に白銀世界「ひなたぼっこの日常」



【右上】救命救急講習受講中！
【左上】日常の余暇シーン「あやとり」
【下2枚】お茶会にて「壁飾り作り」

第4回「運営推進会議」(11月16日)

【委員7名・職員6名出席】

職1 先日の夜間防災訓練では、自動通報装置での連絡を試みましたが、操作中に途中で切れてしまい、地域協力員の方全員には連絡の電話が掛からない状況になりました。大変失礼致しました。

委1 この通報装置だと、登録者に順番に電話が繋がるシステムで、非常時に時間がかかってしまう。LINEを活用する等、一斉に連絡がつかシステムが必要ではないか？

委2 町の告知端末の活用も本格的に取組むべき。流す内容を早く作成してほしい。

職1 取りかかりたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

外部評価のため、デバイス入を視察

委3 ヲ家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？△という設問があるが、どのポイントで考えたらよいか？

委4 夏場に訪問した時は網戸になっていて、それも良いと思った。

委5 職員の応対の仕方等も評価のポイントになると考えてもよいのでは？

委6 中庭に畑があり、作業できるのもよい。

委2 事業所は居心地のいい空間になっていて、ますか？△については、仕切りが少なく、そこちこちで自由に過ぎしているのがいい。

委1 風呂上りにビール等あればさらによい、実際出すデバイスもありません。

職1 色々参考になります。

コロナ集団感染奮闘記

〈時系列で観る闘いの日々〉

【はじめに】

感染症と闘い抜いたお年寄り、職員、外部支援者の方々、ご理解下さったお年寄りのご家族と職員のご家族、すべての皆様のお力とお心に感謝申し上げます。

【その鬼は静かにやってきて、あっという間に飲み込んでいった】

- 11月22日 朝、職員1名の陽性の電話が入る
 “ 夕方、発熱のあった入居者の抗原検査にて1名陽性
 “ 光寿苑感染対策チーム招集 … ゾーン隔離の上、対応開始
- 11月23日 発熱等の入居者、抗原検査にて3名陽性【ゾーン分け開始】
 (陽性者=レッドゾーン、濃厚接触者=イエローゾーン、その他=クリーンゾーン)
- 11月24日 症状のあった入居者2名及び職員1名が陽性
- 11月25日 入居者・職員の一斉抗原検査実施。入居者6名、職員1名陽性
- 11月26日 症状のあった入居者3名が陽性
- 11月27日 症状のあった入居者5名が陽性
- 11月28日 2度目の一斉抗原検査実施。入居者0名も職員7名陽性！
 (ICAT(岩手感染制御支援チーム)のオンライン指導を受ける。使い捨て食器や感染対策のためのガウン使用と着脱の仕方、換気の徹底等の見直しをはかる)
- 11月29日 症状のあった職員と夜勤帯に入る予定の職員、都合2名陽性
- 11月30日 症状のあった入居者2名及び職員1名が陽性
- 12月1日 3度目の一斉抗原検査実施。入居者0名も職員3名陽性
- 12月2日 介護の助っ人のため、外部支援者の方が加勢下さる。(3日間)
- 12月3日 コロナ陽性で療養期間の入居者の突然のご逝去。深い悲嘆の夜…。
- 12月4日 4度目の一斉抗原検査実施。入居者1名、職員2名陽性
- 12月7日 5度目の一斉抗原検査実施。職員1名陽性
- 12月9日 症状あり2日間の自宅待機していた職員1名陽性
- 12月10日 6度目の一斉抗原検査実施。入居者3名陽性
- 12月13日 7度目の一斉抗原検査実施。職員1名陽性
- 12月16日 8度目の一斉抗原検査実施。一斉検査開始後、初の陽性者『0名』
- 12月18日 陽性入居者全員が療養期間を経過し、レッドゾーン開放に♪
- 12月19日 9度目の一斉抗原検査実施。陽性者『0名』。ゴールは目の前に！
- 12月21日 すべての方が療養明けとなり、一連の出来事は終息を迎えた。

【むすびに】

感染対策が、自分としては出来ている自負のあった集団感染前。しかし、一度ウイルスが入れば、いとも簡単に制圧されてしまう程の感染力の凄まじさを思い知る事になりました。でも、この経験無くしては、本当の感染対策は学べませんでしたし、何よりの財産は、多くの職員が休む間を惜しまず、この一大事に一つになり立ち向かってくれた事でした。光寿苑職員の心意気が施設を護りました。



ドーナツの穴を見る

ドーナツの穴って何だろう。

いつもは気にしないのに、こう聞かれると、「えっ？」って思ってしまうよね。あなたも、ドーナツを食べる時、「穴」って気になる？ 気にならない？

「幸福な王子」という童話を残したオスカー・ワイルドが、次のような言葉を残している。

楽天家はドーナツを見る。

厭世家はドーナツの穴を見る。

も無いとも思っている人々のこと。楽天家は、その逆で、「なんとかなるさ」と思う人。ド

第83回 丸田善明 「自然法爾」(じねんほうに)

「ドーナツの穴って何だろう。」という問いに、いつもは気にしないのに、こう聞かれると、「えっ？」って思ってしまうよね。あなたも、ドーナツを食べる時、「穴」って気になる？ 気にならない？

「幸福な王子」という童話を残したオスカー・ワイルドが、次のような言葉を残している。

楽天家はドーナツを見る。

「ドーナツの穴を見る。」という問いに、いつもは気にしないのに、こう聞かれると、「えっ？」って思ってしまうよね。あなたも、ドーナツを食べる時、「穴」って気になる？ 気にならない？

「幸福な王子」という童話を残したオスカー・ワイルドが、次のような言葉を残している。

楽天家はドーナツを見る。

も無いとも思っている人々のこと。楽天家は、その逆で、「なんとかなるさ」と思う人。ド

おわりに

イラスト：1000

また、状況が不安定な渦中で彼から申し出を頂いた。所外、しかもお仕事をされている合間にボランティアに掛けつけて下さる訳で...。しかも、平素ではない空気感の現場に入る事は並のことではない。導いしか言葉もない。さらにイケメンが手伝い、皆、元氣を賜った♡

※感性のアンテナを張れば、受信できる